

# ゲムシタピン療法を受けられる方へ

科 ID: \_\_\_\_\_ 様

担当薬剤師

## 【投与スケジュール】

	1日目	2～7日	8日目	9～14日	15日目	16～21日	22日目	23～28日
ゲムシタピン	○		○		○			

☆ 4週間毎に繰り返し行います。

☆ 検査の結果でスケジュールや投与量が変わる場合があります。

## 【点滴内容】

生食 50mL  
デキサート 6.6mg

15分

生食 100mL  
ゲムシタピン mg

30分

生食 50mL

全開

デキサート：吐き気やアレルギー症状を抑える薬です。

ゲムシタピン：がん細胞の増殖を抑える薬です。



## 【主な副作用と対策】

**アナフィラキシー様症状**：お薬を投与することで、アレルギーに似た症状が発現することがあります。息がしにくい、胸が締め付けられる、といった症状がある場合にはすぐに知らせてください。

**血管外漏出**：針の刺入部の皮膚が赤くなる・腫れる・痛い・熱っぽい・かゆみが出るなどの症状が現れる場合があります。異常を感じたらすぐに知らせてください。

**白血球減少**：投与後 7～14 日頃に最も減少するといわれています。  
白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、  
風邪などの感染症を起こしやすくなりますので、  
うがい・手洗い・マスクといった感染予防を心がけましょう。



**赤血球減少**：血液の赤い成分が減少することで、めまいやふらつき、疲れやすくなるといった副作用が起こることがあります。十分な休息をとりましょう。

**血小板減少**：投与後 7～21 日頃に最も減少するといわれています。原因不明のあざ・鼻血・歯茎からの出血・頭痛などが起こることがあります。出血しやすくなりますので、怪我や転倒には注意してください。

**食欲不振、悪心・嘔吐**：投与後～2-3 日ほど現れることがあります。あらかじめ吐き気止めを投与していますが、他の薬もありますので辛い時は申し出てください。また食事にはおいの少ないもの・冷たいもの・食べられるものを少しずつ摂取するようにしましょう。



**脱毛**：脱毛が起こることがあります(10%以下)。投与後 2～3 週間経つと抜け始めます。治療終了後 6 ヶ月ほどで生えそろってきます。

**便秘**：水分を摂取したり、お腹のマッサージをしましょう。  
下剤や便を軟らかくする薬も使います。

**下痢**：下痢をしている間は脱水にならないように水分を摂取しましょう。

**口内炎**：食後に歯磨きをするなど、口の中は清潔に保っておきましょう。

**味覚障害**：食べ物の味が変わって感じる場合があります。治療が終了すれば徐々に治ります。

**疲労感・全身倦怠感**：全身がだるくなったり、力が抜けたような感じになることがあります。

**眠気・傾眠**：急に眠くなる場合があります。車の運転など注意しましょう。

**発疹**：皮膚が赤くなったり、痒みが出ることがあります。  
ひどい場合には知らせてください。



**腎・肝機能障害**：薬の影響で腎臓や肝臓に影響が出ることがあります。

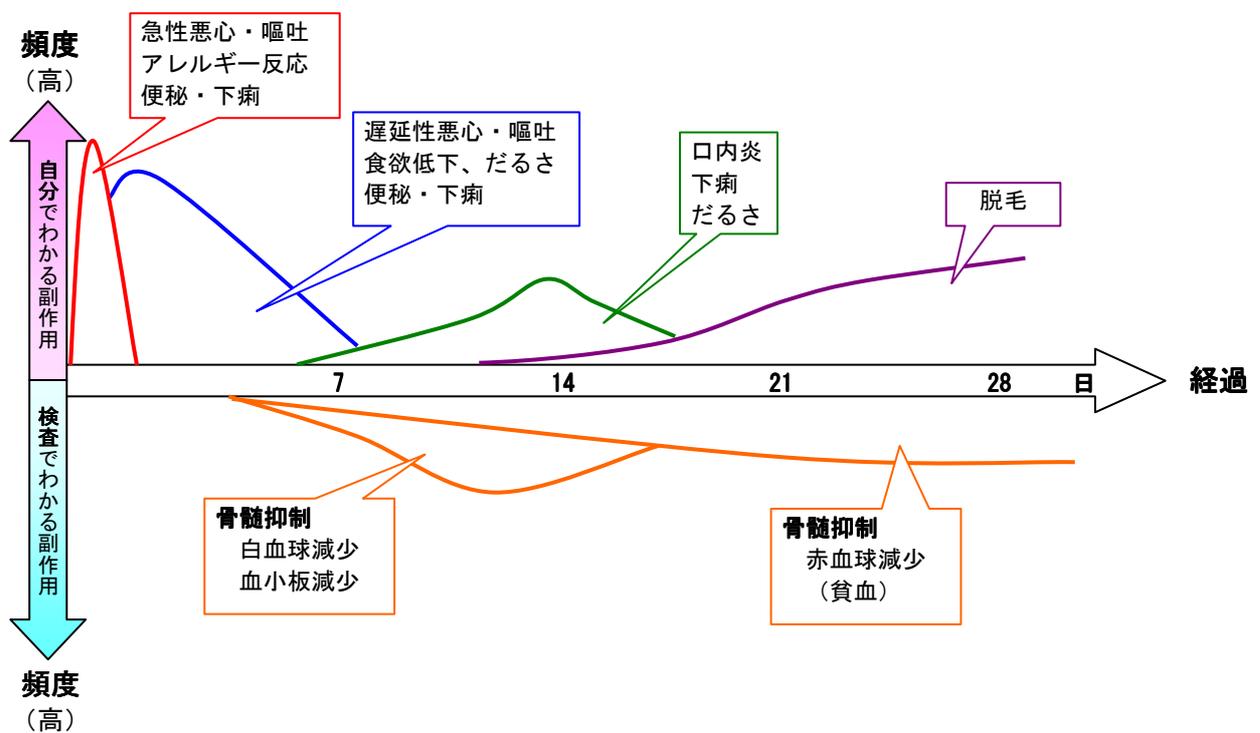
**心障害**：薬の影響で心臓に負担がかかることがあります。

**間質性肺炎**：非常に稀ですが、薬の影響で肺炎が起こることがあります。

咳・発熱・息切れといった症状が続くようでしたらお知らせください。



主な副作用の発現時期と程度のイメージ



副作用の全てが現れるわけではありません。

また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。

気になる症状がありましたら必ず医師・薬剤師・看護師にご相談ください。



### お薬に関する相談先

北信総合病院 (代表)0269-22-2151  
薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2530

